

麻疹風しん混合予防接種の説明

接種対象年齢	1期：1歳から2歳に至るまで 2期：小学校就学前の1年間（いわゆる幼稚園、保育所等の年長児）
ワクチンの種類	生ワクチン
予防する病気	<p><麻疹（はしか）> 麻疹ウイルスの感染によって起こります。感染力が強く、予防接種を受けないと、多くの人がかかる病気です。発熱、せき、鼻汁、めやに、発疹を主症状とします。最初3～4日間は38℃前後の熱で、一時おさまりかけたかと思うと、また39～40℃の高熱と発疹がでます。高熱は3～4日で解熱し、次第に発疹も消失します。しばらく色素沈着が残ります。主な合併症としては、気管支炎、肺炎、中耳炎、脳炎があります。患者100人中、中耳炎は約7～9人、肺炎は約1～6人に合併します。脳炎は約1,000人に1～2人の割合で発生がみられます。また亜急性硬化性全脳炎（SSPE）という慢性に経過する脳炎は約10万例に1～2例発生します。</p> <p>はしかは、医療が発達した先進国であっても、かかった人の約1,000人に1人が死亡する重症の病気です。</p> <p><風しん> 風しんウイルスの飛沫感染によって起こります。潜伏期間は2～3週間です。軽いかぜ症状ではじまり、発疹、発熱、後頸部リンパ節腫脹などが主症状です。そのほか、眼球結膜の充血もみられます。発疹も熱も約3日間で治るので「三日ばしか」とも呼ばれることがあります。合併症として、関節痛、血小板減少性紫斑病、脳炎などが報告されています。大人になってからかかると重症になります。妊婦が妊娠初期にかかると、先天性風疹症候群と呼ばれる病気により心臓病、白内障、聴力障害などの障害を持った児が生まれる可能性が高くなります。</p>
接種回数	<p>● 標準的な接種</p> <p>1期：1歳から2歳に至るまでに1回接種 2期：小学校就学前の1年間（いわゆる幼稚園、保育所等の年長児）に1回接種</p> <p>1歳から2歳に至るまで 小学校就学前1年間</p> <p style="text-align: center;"> 1期：1回 → 2期：1回 </p>
実施時期	年間通して実施
実施場所	個別予防接種実施医療機関
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ガンマグロブリン製剤の注射を受けたことがあるお子さんの接種時期については、かかりつけ医と相談してください。（※ガンマグロブリンは血液製剤の一種でA型肝炎等の感染症の予防目的や重症の感染症の治療目的などで注射することがあります。） 妊娠していることが明らかな人は、接種ができません。 麻疹又は風しんのいずれかにかかった者にも、麻疹風しん混合ワクチンを使用することが可能とされています。
副反応	副反応の主なものは、発熱と発疹です。他の副反応として、注射部位の発赤・腫脹（はれ）、硬結（しこり）などの局所反応、じんましん、リンパ節腫脹、関節痛、熱性けいれんなどがみられます。これまでの麻疹ワクチン、風しんワクチンの副反応のデータからアナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、脳炎、けいれんなどの副反応がまれに生じる可能性もあります。
備考	各医療機関に予約の有無や時間を確認してください。 必ず体温を測って、予診票と母子健康手帳を持っていきましょう。

予防接種を受けに行く前に

予防接種に行く前のチェック

- お子さんの体調はよいですか。
- 今日受ける予防接種について、必要性、効果及び副反応など理解していますか。わからないことがあれば、質問をメモにしておきましょう。
- 母子健康手帳は持ちましたか。
- 予診票の記入は済みましたか。

1. 接種を受ける前に

予防接種は体調のよい時に受けるのが原則です。日頃から保護者の方はお子さんの体質、体調など健康状態によく気を配ってください。そして気にかかることがあれば、あらかじめかかりつけ医や佐賀市健康づくり課にご相談ください。

安全に予防接種を受けられるよう、保護者の方は、以下のことに注意の上、当日に予防接種を受けるかどうか判断してください。

- (1) 当日は、朝からお子さんの状態をよく観察し、ふだんと変わったところのないことを確認するようにしましょう。
予防接種を受ける予定であっても、体調が悪いと思ったら、かかりつけ医に相談の上、接種をするかどうかが判断するようにしましょう。
- (2) 受ける予定の予防接種について、必要性や副反応についてよく理解しましょう。わからないことは、接種を受ける前に接種医に質問しましょう。
- (3) 「母子健康手帳」を必ず持っていきましょう。
- (4) 予診票は、接種する医師への大切な情報です。責任をもって記入するようにしましょう。
- (5) 予防接種を受けるお子さんの日頃の健康状態をよく知っている保護者の方が連れて行きましょう。

2. 接種を受けた後

- (1) 予防接種を受けた後 30 分間程度は、医療機関（施設）でお子さんの様子を観察するか、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。急な副反応が、この間に起こることがまれにあります。
- (2) 接種後、生ワクチンでは 4 週間、不活化ワクチンでは 1 週間は副反応の出現に注意しましょう。
- (3) 接種部位を清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。
- (4) 当日ははげしい運動は避けましょう。
- (5) 接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。

【お問合せ先】

佐賀市役所 健康づくり課 予防接種係

0952-40-7279